

令和元年度第2回市民健康づくり推進協議会議事録（公開用）

日 時	令和2年2月13日（木） 14:00～15:15
場 所	平塚市保健センター 1階 がん検診待合室
出席者	委 員 濱島委員、古正委員、小宮山委員、大草委員、石原委員、平本委員 （代理）、彦根委員、尾崎委員、竹下委員、岡田委員、福田委員、米 村委員 事務局 磯部課長、鶴井課長代理、萩尾課長代理、坂田主管、小泉主査 傍聴人 なし

1 挨拶

2 議題

（1）平塚市健康増進計画第2期中間評価報告について

事務局から、平塚市健康増進計画第2期中間評価報告について説明。

（資料1）

【会長】健康分野2の身体活動・運動について、運動・スポーツの実施状況「ほとんど毎日【週3回以上】」の成果指標を「週420分以上の総運動時間の割合」に変更されたという説明がありましたが、成果指標を変更したことで、成果が低くなったのでしょうか。

【事務局】はい、その通りです。

（2）令和元年度新規事業の実施状況について

ア 産前産後ヘルパー派遣事業

事務局から、産前産後ヘルパー派遣事業について説明。

（資料2、3）

【委員】このような事業ができて本当に良かったと思います。開始されたばかりだと思いますが、利用者から希望されるサービスはどのようなものが多いのですか。

【事務局】育児に関するものが多いです。本市としては、例えば午前中にサービスを利用する場合、その日の昼食と夕食の食事の用意をお願いすることを想定しておりました。実際には、人によっては冷凍保存用に1週間分の家族の料理を調理してもらいたい、と頼まれることもあるようです。本市としては、あくまでも赤ちゃんとお母さんを中心とした育児支援というイメージだったのですが、中には家政婦さんを利用するというイメージで利用される方もいるため、現場で調整しています。また、1人目のお子さんを出産された方だけではなく、2人目の出産で上の子の育児の手が回らない場合なども利用されています。

【委員】チラシを見ると、利用できる人は、体調不良等で育児や家事を行うことが

困難など書いてあり、お母さんたちにとってすごく大変な状況でなければ受けられないという印象を受けます。気軽には受けられず、何か障害がないと受けられないというイメージがあります。

【事務局】実際には、例えば単に周りに支援者がいない場合でもサービスを受けていらっしゃると思います。本来は公的なお金を使うものなので、誰でも受けられるというのではなく、対象者の基準を設けています。申し込まれた際にお話を伺い、例えば普通の御家庭であっても、2人目のお子さんが生まれて夫の帰りが遅く一人で2人のお子さんの面倒を見るのが大変である場合などは、対象者とすることもあります。また、出産直後の調子が不安定だった場合は、産科から保護者の方にこのサービスを紹介していただくようお願いしております。対象者については、このように基準は設けていますが、実際にはその都度判断して、なるべく希望される皆さんに受けただけのようサービスを提供しております。

【委員】もっと気軽に受けることができるファミリーサポートというものもあるので、通常はそちらのサービスが使えます。医療機関から紹介していただいた方はこの事業でサポートしていくということですね。

【事務局】委託先が4事業所ありますが、介護保険関係の事業所をお願いしています。そのため、どこも人手不足な状況なので、産後のお母さんたちすべてにサービスができるわけではありません。まずは、対象者をある程度限定して基準を設け、ゆくゆくは実施していただく事業所も増やしていき、ニーズに沿って市民の希望どおりヘルパーさんを派遣できるようにしていこうと考えております。実際に実施してみて、ヘルパーさんたちも普段携わっている介護関係の内容よりも明るくて楽しいというような意見をいただいております。また、事業者によっては、いろいろな工夫してPRしてくださっている事業所もあります。核家族が増えていますので、今後注目されていく支援になると思います。

【事務局】ファミリーサポートセンターのヘルパー派遣についてお話がありましたが、こちらは産後1か月が対象となっています。今後、産後ヘルパー派遣事業と重なる部分があるため、今後は一本化し、ファミリーサポートセンターのヘルパー派遣は健康課の産前産後ヘルパー派遣事業に移行する予定です。令和2年4月以降、ファミリーサポートセンターは預かりサービスのみとなる予定です。

【米村委員】どちらも良い事業だと思います。産前産後ヘルパー派遣事業は、ヘルパーさん自体が足りないというイメージがあります。

【事務局】なるべくサービスを使いたい方に希望どおり利用していただけるよう今後事業者も増やしていきたいと思っております。もっと多くの方が使うことができる事業に育てていきたいと思っております。

【会長】告知方法についてですが、どのような形で周知しているのですか。必要な方には全員お伝えすることができているのでしょうか。

【事務局】ネウボラルームにて、母子手帳を交付する際にちらしをお渡ししています。

【会長】妊娠した方は全員知っているということですね。

【事務局】はい、その通りです。ホームページにも掲載し、また産科からも案内していただいております。

【会長】委託料に関しては、自己負担金が1,200円ということでしょうか。

【事務局】はい、その通りです。自己負担金が1,200円で公費負担を合わせて、事業者への委託料は5,500円となっています。

【会長】事業者には、5,500円支払われるということですね。

【事務局】はい、そうです。

【会長】実績に関してですが、申請件数は延べ件数ですか。それとも利用件数は、何回利用しても1人は1件というカウントするのでしょうか。

【事務局】延べ件数ではなく、これは利用者の人数になります。

【会長】延べ件数はもっと多いということですね。

【事務局】はい、その通りです。

イ 未病改善教室（成果報酬型委託事業）

事務局から、がん検診の実績について説明。

（当日配布資料）

【委員】男性の参加者が20人だったというのは多いように感じます。通常の保健事業の場合、男性の参加者は少ないものだと思うのですが、この事業の場合は御家族からの勧めなどの影響で、参加率が高かったということでしょうか。

【事務局】はい。参加者に行ったアンケート結果では、参加した理由は、御家族や友人から勧められたという方が多かったです。また、委託先のライザップのイメージによって、男性が受けたいと思わせたようです。通常はこのような健康教室を開催した場合、女性の参加者が多くなります。今回の事業では、働く世代である40代から60歳までを対象としたこともあり、痩せたいと思っている男性の方は結構いるということを感じました。当初は、参加者の男女比は同じぐらいかと想定していましたが、男性の方が多い結果となりました。このような集団で行うプログラムの場合、男女比は大切であり、女性が多い場合はなかなか結果が出ないそうです。男性が多い方がこのようなプログラムはうまくいくという意見もあったので、結果としては良かったと思います。

【会長】本件は、企画としては効率的でキャッチーなものなので良い事業だと思うのですが、その一方で、ライザップのプログラムは短期間での取り組みなので、長期間で見た場合の生活習慣病の改善率や体調管理が難しいかと思えます。そのような課題に対して、例えば、今回受講した方にプログラムが終わった後に医療機関に繋がったり、運動習慣を続けたりするなど、事業終了後のフォローアップに関する企画については話し合ったのでしょうか。

【事務局】昨年9月から11月まで事業を行いましたので、ちょうど1年後の今年9月頃に参加された皆さんに健診データ等を提出していただき、リバウンドされていないかどうか、血液検査がどうなっているか、という振り返りをさせていただく予定です。

【会長】その後に医療機関に繋ぐこととか、運動習慣の継続だとか、そのあたりのことについては、どうでしょうか。

【事務局】血液検査などのデータを見させていただいた時に、医療機関を受診されているかどうか、運動を継続されているかどうか、把握させていただいた

上で、病院にかかってほしい方については、受診勧奨をしていきたいと考えております。

ウ 口腔がん検診

事務局から、口腔がん検診について説明した。

(資料4)

【委員】今年度から成人歯科検診のオプションとして、個別医療機関で実施することになりました。今までは、歯科医師会が主催として、集団検診を年1回しか開催することができませんでした。50～60人を対象に行い、必ず何名か口腔がんの疑いがある方が出ていました。今回、個別医療機関で実施することができるようになり、受ける機会が増えたことで、早期発見をすることができるようになったので、歯科医師会として感謝しています。まだ、開始して1年目なので、結果がまだ出ていませんが、今後も歯科医師会としても研修を受けて、多くの医療機関が事業に参加できるようにしておりますので、今後も進めていきたいと思っております。

3 その他

【委員】平塚歯科医師会では、令和2年9月13日に市民公開講座を中央公民館で開催します。内容としては、子どもを対象としたものなのですが、虫歯を発症している場合、虐待が絡むケースが多いことがあります。三重県の歯科医師会では、虫歯と虐待の関わりについて、数値化したデータがあります。口内の健康状態で虐待との相関関係を数値化しています。教育委員会でも発表させていただきましたが、虐待との関係性についても取り組んでいきたいと考えています。虐待を減らし、虫歯を減らす底上げをしていくために、市民の方を対象に市民公開講座を開催することになりました。なるべく理解を深めていってほしいと思っております。

4 閉会

以 上